

## 将来につながる学び

### 1-2 村越紗貴

私は信州つばさプロジェクトインターンシップ台湾コースに参加して、台湾に行ってきました。台湾に行きたいと思った理由は2つあります。1つ目は、興味がある分野の学びを深めたいと思ったからです。私は将来子供と関わる仕事がしたいので教育や保育に興味があります。台湾は女性の社会進出が進んでいますが、それは子育てが関係していると考え、実際に現地に行ってみてみたいと思いました。さらに、比較教育も学びたいと思っているのでさまざまな国の教育も勉強したいです。2つ目は、たくさんさんの異文化に触れたいと思ったからです。中学生のとき交換留学でアメリカへ行きました。そこは日本とは全くちがう文化でした。その違いを見つけることが面白く、もっと他の国の文化にも触れてみたいと思うようになりました。

企業へのインターンシップでは工場を見学しました。そこでは女性が中心となって働いており、産前産後休暇や育児休暇も法律に基づいてしっかり取得できることが分かりました。男性の育児休暇もあり、日本と似ている部分もあると感じました。事前学習で、託児所が設置されている企業が多いと学んでいましたが今回見学した工場にはありませんでした。しかし調べてみると、多くの企業に設置されており一定規模以上の企業には義務付けられている場合もあることが分かりました。このような制度から台湾では女性の社会進出が進んでいると感じました。

現地の高校生との交流で訪問した工業学校は規模が大きく多様な学科があり生徒数も非常に多かったです。日本との違いとして、高校が普通科と実業科に分かれていることや高校から専門的な内容を中心に学んでいることが挙げられます。また中学校から第二外国語を学ぶため多くの生徒が英語だけでなく日本語も話せていました。私が英語で会話しようとしても言葉がすぐに出てこなかったり、相手の話を十分に理解できなかったりして悔しい思いをしました。この経験から自分の英語力の課題に気づくことができました。台湾の生徒は積極的に授業に参加し、先生との距離感も近く、主体的に学んでいる姿が印象的でした。将来の目標が明確で、それに合った学びを選択している点も特徴的でした。

また、私は女性の学校の先生の家にホームステイしました。これは質問するチャンスだと思い、たくさんお話ししました。まず、子育てについて聞きました。先生という仕事は大変ですが出産をしっかりと支援してくれるので安心して子供を産んで育てることができるということです。幼稚園は私立と公立があります。ホームステイの家庭の子供たちは小学校附属の幼稚園に通っており先生がとても良いので、女性が学校で働くことができると聞き、幼稚園の先生の質が大事だと思いました。そして、台湾の教育についても質問しました。台湾の生徒はどのような様子ですか？と聞いたところ、台湾

は自由すぎて多くの学生たちが学習資源を大切にしていなと思うと答えていただきました。私自身も学生と交流した際に自由だなと感じ、とても学校生活が楽しそうだと思います。台湾の生徒は非常に受動的で学習の差がとても大きいため台湾の教育状況は悪化するともおっしゃっていました。このような状況は日本と似ていると思いました。

事前学習で台湾の歴史や生活について学んでいましたが実際に行ってみると想像以上の発見が多かったです。日本のことを好きな人が多く、街には日本語の看板や日本食のお店が多く並んでいました。また、日本と台湾は地域同士の交流も盛んであることが分かりました。さらに台湾では日本の出来事が日々ニュースとして取り上げられており、両国の関係の良さを肌で感じました。私は台湾では中国の話題は避けられているものだと思っていましたが、実際には多様な意見があり日常的に話題にされていました。この経験を通して日本にいただけでは分からないことが多くあると実感し、実際に現地に行くことの重要性を学びました。台湾は多様な考えを持つ人が多く、さまざまな人と話すことで多くの色々な意見を得ることができました。気になったことは積極的に質問し、勇気を出して行動することで自分を大きく成長させることができたと思います。

現在の目標は英語力の向上です。台湾の高校生は同年代でありながら高い英語力を持っており、自分との差を強く感じました。この経験から今後は積極的に英語でコミュニケーションを取る機会を増やしたいと考えています。また英語だけでなく中国語やヨーロッパの言語にも挑戦したいです。この1週間で得た学びを無駄にしないようにしっかりと活かして、今後はもっとさまざまな国を訪れたいです。そして自分の目で各国の保育を学び、日本の保育に活かせる人材になりたいと考えています。そのために目標に向かって努力し続けます。

今回このプロジェクトに参加したことで将来が大きく広がり、多くの学びを得ることができました。こんなにも貴重な体験ができたこのプロジェクトに参加できたことを嬉しく思うとともに関係者のみなさんに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。